

2022 年度目標達成状況報告書（工学研究科）

No.	評価基準		
1	年度目標	工学研究科 大学院教育を安定して走らせる ・増員された大学院入学者定員（40 名）の確保	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		S	
No.	評価基準		
2	年度目標	工学研究科 大学院教育を安定して走らせる ・大学院担当教員の充実と新規科目の増設	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		S	
No.	評価基準		
3	年度目標	サステイナブル工学を作る ・新規科目（サステイナブル工学特別講義）の開講	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		S	
No.	評価基準		
4	年度目標	サステイナブル工学を作る ・M2 学生の就職支援（サステイナブル工学特別講義による業界研究）	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		S	
<p>【年度目標達成状況総括】</p> <p>2022 年度は研究科の設立 4 年目、最終年度であった。この 4 年間で教務行事等の進め方も確立した。今年度の目標事項を達成し、研究科を軌道に乗せた。次年度 2023 年度の研究科長への引き継ぎも問題なく完了した。</p> <p>2017,18 年度の準備期間を含め、新規研究科の設立・運営においては研究科長の独断が多かった。そのため、企画し実施できる事業項目は限られてしまった。機能の分掌は更なる研究科の発展のために必要と思われる。</p> <p>大学院としての予算の確保は今後の課題である。大学院生の学会発表の支援など、これからの運営には、それに応じた自由度のある予算枠が必要と考える。</p>			

【2022 年度目標の達成状況に関する大学評価】（自己点検評価委員会）

年度目標 4 件は概ね達成されており、自己点検・評価は適正である。改善の余地のある項目については引き続き検討をお願いしたい。